

# 平成 28 年度 指定管理者制度導入施設の管理運営状況について

文化芸術課

## 1 施設の概要等

施設名	広島県民文化センター		
所在地	広島市中区大手町一丁目5-3		
設置目的	県民の文化の振興に資する。		
施設・設備	ホール (530 席), 展示室 (3 室), 練習室 (3 室), 楽屋 (4 室), 駐車場 (36 台)		
指定管理者	5 期目	H25. 4. 1~H30. 3. 31	RCC文化センター・イズミテクノホールマネジメントグループ共同事業体
	4 期目	H24. 4. 1~H25. 3. 31	(財) 県民センター
	3 期目	H23. 4. 1~H24. 3. 31	(財) 県民センター
	2 期目	H20. 4. 1~H23. 3. 31	(財) 県民センター
	1 期目	H17. 4. 1~H20. 3. 31	(財) 県民センター

## 2 施設利用状況

利用状況	年度	目標値 [事業計画]	ホール利用率	対前年度増減	対目標値増減 (達成率)
	5 期	28	69.4%	78.5%	5.3%
27		68.5%	73.2%	1.8%	4.7% (106.9%)
26		67.5%	71.4%	1.9%	3.9% (105.8%)
25		65.7%	69.5%	1.2%	3.8% (105.8%)
4 期	24	75.0%	68.3%	4.1%	△6.7% (91.1%)
3 期	23	74.0%	64.2%	△3.7%	△9.8% (86.8%)
2 期平均	20~22	75.1%	67.9%	△4.2%	△7.2% (90.4%)
1 期平均	17~19	72.0%	72.1%	0.7%	0.1% (100.1%)
	(導入前) 16	—	71.4%	—	—
増減理由	積極的な営業活動と自主事業の実施によりホール利用者が増加し、目標値を達成した。				

## 3 利用者ニーズの把握と対応

調査実施内容	【実施方法】	【対象・人数】
	施設利用者からの聴取	会館利用者
	【主な意見】	【その対応状況】
	洋式トイレの増加 トイレ手洗いの自動水洗	3階女子トイレ(1カ所)の洋式化を実施 1階女子トイレ及びホール男子トイレの自動水洗化

## 4 県の業務点検等の状況

項目	実績	備考
報告書	年度	○ 事業報告書
	月報	○ 月次業務報告書
	日報 (必要随時)	— 緊急を要する事例の発生なし
管理運営会議 (2回・現地)	【特記事項等】 施設の老朽化に伴う対応 【指定管理者の意見】 施設が老朽化してきている。利用者の安全確保と利便性の維持・向上の観点から、適切な修繕が必要	
現地調査 (9月, 3月に実施)	【県の対応】 施設の利用に支障を来さない様、施設の計画的な修繕を行う。	

## 5 県委託料の状況

(単位：千円)

	年度		金額	対前年度増減		年度		金額	対前年度増減
	県委託料 (決算額)	5期	28	68,861		△1,082	料金収入 (決算額)	5期	28
27			69,943	3,544	27	79,482			17,833
26			66,399	△4,101	26	61,649			△12,550
25			70,500	1,700	25	74,199			△887
4期		24	68,800	△1,000	4期	24		75,086	△3,818
3期		23	69,800	△2,708	3期	23		78,904	468
2期平均		20~22	72,508	△1,254	2期平均	20~22		78,436	△3,086
1期平均		17~19	73,762	△7,964	1期平均	17~19		81,522	4,437
(導入前)		16	81,726	—	(導入前)	16		77,085	—

## 6 管理経費の状況

(単位：千円)

項目		H28 決算額	H27 決算額	前年度差	主な増減理由等	
委託事業	収入	県委託料	68,861	69,943	△1,082	休館に伴う委託料減額
		料金収入	76,367	79,482	△3,115	利用料金制(※1) 休館に伴う料金収入減
		その他収入	4,102	336	3,766	休館に伴う営業補填
		計(A)	149,330	149,761	△431	
	支出	人件費	25,672	25,678	△6	
		光熱水費	23,655	26,436	△2,781	休館による減
		設備等保守点検費	64,531	64,117	414	舞台関係要員追加による増
		清掃・警備費等				
		施設維持修繕費	6,335	6,437	△102	施設修繕の減
		事務局費	11,454	11,369	85	
その他		3,192	3,449	△257	事業所税の減	
計(B)	134,839	137,486	△2,647			
収支①(A-B)		14,491	12,275	2,216		
自主事業 (※2)	収入(C)	24,635	23,758	877	定期公演数の増	
	支出(D)	30,275	29,112	1,163	定期公演数の増	
	収支②(C-D)	△5,640	△5,354	△286		
合計収支(①+②)		8,851	6,921	1,930		

※1 利用料金制：公の施設の使用料について、指定管理者が直接使用料等を収入することができる制度。  
指定管理者の自主的な経営努力を発揮しやすくする効果が期待され、地方公共団体及び指定管理者の会計事務の効率化が図られる。

※2 自主事業：指定管理者が自らの責任で、更なる施設サービスの向上のために提案・実施する事業

## 7 管理運営状況

項目		指定管理者 (事業計画, 主な取組, 新たな取組など)	県の評価
施設の効用発揮	○施設の設置目的に沿った業務実績	県民へ気軽に日本の伝統芸能に親んでもらえるよう、「広島神楽」定期公演を毎週水曜日(4月～12月)に実施した。	積極的に自主事業を開催し、ホールの利用率向上に努めているとともに、伝統芸能である神楽の普及・振興という施設の設置目的に沿った対応を行った。
	○業務の実施による、県民サービスの向上	従来から実施している企業・文化団体、学校への訪問や、予約抽選に漏れた方への空き情報の提供等を通じ利用促進を図った。	積極的に営業活動を行っており、また、利用に漏れた方々への対応も行うなど、サービスの向上に努めた。
	○業務の実施による、施設の利用促進	ホール、展示室の利用の際、2ヶ月以内の直前予約については、利用料金の20%を当センターで補助するなど、利用の促進を図った。	施設の利用促進に向けて、利用者のメリットを意識した対応を実施した。
	○施設の維持管理	大規模修繕(空調更新等)の調査や修繕を関係者と連携して実施した。	施設の業務に支障がないよう計画的に修繕を実施した。
管理の人的物的基礎	○組織体制の見直し	共同事業体の本社と連携し、効率的かつ効果的な職員配置を行い対応した。	施設の運営の充実化に向け、関係者と連携し適正な職員配置を実施した。
	○効率的な業務運営	トイレの水漏れ修理など、施設の緊急修繕に対しても外部委託業者との連携で迅速に対応した。	緊急を要する修繕についても迅速に対応した。
	○収支の適正	日頃の営業努力によりホール利用率が上がり、休館がありながら料金収入も前年並みを維持した。	適正な経営状態を維持し、かつホール利用率も向上させた。
総括		施設情報のPRや営業活動、自主事業等を積極的に行い、利用促進を図った。 自主事業の「広島神楽」定期公演では前年を上回る入場者数となり、特に今年度は周辺ホテルや観光案内所への営業活動を継続してきたおかげで、多くの海外のお客様に鑑賞して頂くことができ、定期公演の定着を実感した。	施設の利用促進に向け積極的な営業活動を幅広く実施しており、利用率向上に繋がった。収支も適正であり、施設を適切に管理した。 また、「広島神楽」の自主事業等を通じて、広島県の文化振興へも貢献した。

## 8 今後の方向性(課題と対応)

項目	指定管理者	県
短期的な対応 (平成29年度)	○広島神楽定期公演の入場者数増や、ホール等の利用率向上に向け、近隣ホテル等への継続した営業と、旅行会社向けの神楽PR動画の配布や海外旅行者向けの観光冊子への掲載を行い、入場者数増、ホール利用率増へ繋げる。  ○施設の適切な修繕により、利用者の安全面を確保する。	○ホール・展示室等の利用率向上に向け、利用者メリットを意識した対応等により、利用促進に向けた取組を指定管理者と協力して進めていく。  ○施設利用者の安全面確保に向け、施設の修繕等維持管理を指定管理者と連携して行う。
中期的な対応	自主事業の発展に向け、新たな自主事業の企画を行う。また、施設の予約受付方法の変更による利用率の向上に向け、環境づくりを進める。	施設のさらなる利用の促進に向け、指定管理者との連携を強化する。